

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01020050

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 更新機器・システムリース期間 平成26年1月～平成30年12月(5カ年間)
基本施策	21	情報通信網の整備・充実	事業優先度	A		
単位施策	2	行政情報化の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	情報管理一元化事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	1	総務課	
事業主体	雄武町		関係課	4	住民生活課	
事業指標	計画的な整備			5	保健福祉課	
事業目標	システム更新一式		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	各種行政サービス提供のためのシステムに係る機器及びネットワークを一元管理し、セキュリティ強化を図るとともに、情報連携環境を構築し最少機器構成での効率的なサービス提供のため、行政情報集約の全体調整を行う。 また、平成25年5月に成立した番号制度関連法に基づき、28年10月の個人番号通知、29年1月の個人番号利用開始などのスケジュールが定められており、それらに対応するための既存システムの改修等を行う。 ※予算関連については、システム利用所管課において計上・執行する。(番号制度以外)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース) 番号制度対応既存システム改修(総合行政、健康管理システム)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース)
	事業費(千円)	81,880	6,642	26,566	16,224	16,224
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	81,880	6,642	26,566	16,224	16,224	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	33,725	5,360	28,365	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	9,802		9,802		
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	23,923	5,360	18,563			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース)	総合行政システム更新(リース) 戸籍連携ツール更新(リース) 健康管理システム等更新(リース) 番号制度対応既存システム改修			
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	システム更新一式	システム更新一式	システム更新一式	システム更新一式
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	81%	107%	0%	0%
	全体達成率	7%	41%	41%	41%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	情報管理一元化事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	情報統計係長	樋山 隆志

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	各種行政システム機器等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各種行政システム更新
【抱える課題やニーズは】	各種行政システムは事業所管課による単独導入が多く、住民基本台帳との連携を行っていないものが多数存在している。また、ネットワーク機器についてもそれぞれ閉鎖されたネットワークでの運用となっており、利用機器数やセキュリティ対策の面からも非効率的な利用となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	機器及びネットワークを含む情報管理の一元化のもと、セキュリティ強化および利用環境の効率化を図る。	①	各種行政システム更新
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	今後想定される各種システムの更新時において、情報管理一元化を推進し、ネットワークを含む情報連携環境を整備の上、最小機器構成での効率的かつセキュリティの高い運用を行う。	②	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各種行政システムの更新	システムの更新にあたり、情報管理一元化のもと整備を行うことで、全システム統一的なセキュリティ強化及び効率化を図ることができた。	
	社会保障・税番号制度対応システム改修	社会保障・税番号制度に対応するため、既存システムの改修を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各種行政システムの利用機器の適正配置や連絡調整、セキュリティ水準の維持の面からも、一元化により行うことが必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	更新に係る窓口を一本化することで、各種行政システムにおけるセキュリティ水準を統一的に保つことができ、業務の運用ができていた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	更新に係る契約事務等を一本化することで、事務の効率化を図るとともに事業費の抑制に努めた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	適正なシステムの管理は、町民全体の利益につながるものであり、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
情報管理一元化のもと、各種行政システムの計画的な整備・更新を行うことができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後においても各種行政システムのセキュリティ対策及び利用環境の効率化を図っていく必要がある。また、マイナンバー法に基づいたシステムの改修についても遅滞なく事務を進めていく必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止